

南河内地区 病診連携テーマに講習会 9割が病院歯科に患者送る

南河内地区は、青山病院歯科口腔外科部長の北島信彦先生を講師に、よい病診連携「病院歯科の本音」をテーマに講習会を09年12月19日、保険医会館で開き、17人が参加した。

北島氏は、地域で集めた病診連携に関するアンケートから、9割の開業医が病院歯科に患者を送っている一方、送らない「送れない先生が理由として「送り先の先生を知らない」「技量が分からない」「などを挙げていることを紹介した。病診連携を強めるための今回のような取り組みは、大変意義のあるものだ」と話し、最後にB.P.剤による顎

患者がモニター化する近年にあって、歯科の処置はほとんど外科・手術であり「手術するのにきちんと説明しない医師はいない」と患者への丁寧な説明の重要性や、紹介状をつくる注意点も簡潔に述べた。

最後にB.P.剤による顎

わが街 わが地区



患者への丁寧な説明の重要性を強調する北島氏=12月19日、保険医会館



次期改定について、補綴物維持管理料の廃止が危惧されると述べる吉田氏=12月19日、大阪市内



模型を使い接着方法について指導する英保氏=11月29日、保険医会館

骨壊死や、抗生剤の使用基準、ワーファリン使用患者に対する歯科治療の注意点などを実体験も交えながら話した。

特に、ワーファリン使用患者には、処置の直前にPTの値を調べることや、ガイドラインの策定によって歯科医師による

治療前のワーファリンの服薬中止の指示にも、注意が必要であることなどを述べた。

ことが今年度の一番大きな成果」と強調するとともに、「オンライン化問題は完全に解決したわけではないので、これからも注視していかなければならない」と訴えた。

吉田氏は、次期改定について中医協協議の現状を報告。「在宅歯科医療の推進、障害者歯科医療の充実、どのように点数を配分するのか注視していきたい」とし、「補綴物維持管理料は、2年間の「しほり」が残ったまま点数自体廃止の可能性があることを危惧している」と述べた。

次期改定と個別指導対策

カルテ記載の基本など解説

大阪市東部地区、北島地区、大阪北部、大阪、大阪市北部、三島の3地区は09年12月19日、合同で「強化される個別指導への対策と2010年度診療報酬改定」をテーマに講習会を開き、33人が参加した。講師は戸井逸美政策部員と吉田裕志社保研究部長。

戸井氏は、11月25日に出たレセプトオンライン化に係る厚労省令で、「協会・保団連の地道な活動により世論を動かしたまま点数自体廃止の可能性

高温多湿ほど接着力低下

除湿方法など具体的に解説

大阪市東部地区は、英保裕和氏(兵庫県三田市開業)を講師に09年11月29日、「効率と長期安定性を追求した接着修復の実際」をテーマにした講習会を保険医会館で開き、24人が参加した。

英保氏は、2次カリエスになり抜髄を行わざるをえなかったケースを示し、きちんと手順を踏めば長期間、修復物を保存できることを述べた。手順操作をしっかりと踏み天然歯を保存するならば、インプラント治療より価値があると強調した。

また、「口腔内の水分量は接着強度に大きく影響し、高温多湿になるほど接着強度が低下する」と

「接着強度は歯質の破壊強度にほぼ匹敵する」と説明し、接着強度を決める影響因子として、湿度・唾液・血液・滲

報酬率 プラスは実質0.03% 公表されていない薬価分600億

10年ぶりのプラス改定とされた2010年度診療報酬改定だが、公表されていない薬価のマイナスによって、実質は0.0273%改定であることが分かった。

厚労省は、2010年度診療報酬改定の改定率を0.19%と公表したが、薬価・材料価格改定は、実質0.13%の引き上げが5700億円で、差し引き100億円のプラス(0.03%)だ(図)。

後発品への置き換え効果は、医科には大きな影響がありそうだ。

| 診療報酬本体 | 5,700億円 | 1.55% |
|---------------|---------|---------|
| 歯科 | 600億円 | 2.09% |
| 医科 | 4,800億円 | 1.74% |
| (入院) | 4,400億円 | 3.03% |
| (外来) | 400億円 | 0.31% |
| 調剤 | 300億円 | 0.52% |
| 薬価・材料価格改定 | 5,000億円 | ▲1.36% |
| 薬価改定 | 4,500億円 | ▲1.23% |
| 材料価格改定 | 500億円 | ▲0.13% |
| 後発品への置き換え | (600億円) | (▲2.2%) |
| 診療報酬全体(公表ネット) | 700億円 | 0.19% |
| (実質ネット) | 100億円 | 0.03% |

注: ()は診療報酬の引き上げ財源には充てられず

今後の改定スケジュールは2月中旬に中医協が点数改定案を厚労大臣に答申、3月上旬に告示・通知、4月1日から診療報酬改定施行となる。

厚労省は、実質ゼロ改定の報道を受けて1日、先発品から後発品への置き換え財源は、医療機関の収入とみなされず、これまで改定の財源としてこなかったとの見解を公表している。

【面談議員】(民主・衆) 森山浩行、(民主・衆) 田中美絵子、(共産・衆) 宮本岳志、(共産・参) 山下芳生

【秘書対応】(衆院(民主)) 稲見哲男、大谷啓、熊谷貞俊、熊田篤嗣、樽床伸二、辻恵、中川治、中島正純、中野寛成、長尾敬、長安豊、秋原仁、平野博文、藤村修、村上正好、吉田

後発品の置き換え効果 後発品が目撃されれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

品が目標どおり普及すれば、減るはずの薬剤費が減らせている。の切り下げで削減している。

医院新聞 共同発行会

医院と患者さんの定期便

手間要らずで安価に

- ベースは協会が責任編集
- 記事の一部は差し替え可能
- 各医院のオリジナル紙面

読者の声を「会報」で反映します

- 隔月(奇数月)発行 ●B5判 4ページ建て
- 100部 14,100円から

お問い合わせは 協会事務局 ☎06-6568-7731へ